



LIONS NEWS

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ニュース

2020 June Vol.6





2020年 COVID-19 のパンデミック(感染爆発)を経験して 緊急時対応のための地域コミュニティづくり、 ボランティアについて

昨今、自然災害（台風・地震）やライフラインの寸断（ブラックアウト・断水）、そして風土病の世界的な蔓延（生命危機・外出禁止）時など、地域コミュニティに緊急時の問題解決の対応が求められ、その重要性が増してきていると言えます。

そこで地域行政・ボランティア団体と在勤・在住者（地域のオトナ）が各々顔見知りになれる環境・機会を整備し、お互いの得意分野や補えることを確認して、三者が ONE TEAM となれる、緊急時に強い未来都市東京を創造する手がかりを知るために伊賀 G から小池都知事へ以下の4つの質問をいたしました。

1、テレワーク等を実践し自宅で働いたオトナ達へ、これからも地域社会で率先して関わってもらい、行動して欲しいことは何でしょうか。

⇒ 自身が持っている知識や経験、スキルを活かして、地域コミュニティの活性化や「居場所」の創出など、地域を支えていただきたい

2、東京都（行政）から地域に戻ったオトナと勤務先（企業）へ、コミュニティの重要性とその関わりを理解して実行するための提案、施策はありますか。

⇒ 地域を支える人材を、地域の課題解決に取り組もうとする町会・自治会等に、コーディネーターとして派遣し、支援 町会・自治会、大学、企業、NPO等が連携して、コーディネーターの下、地域資源を活用しながら、課題を解決する取組を行う。取組を通じて生まれる人と人とのつながりが、コミュニティを活性化し、新たな支え合いの形を創出

3、一同に会して（密集）事業を多く行っていた既存のボランティア団体に、これから期待していること、また今後変化して欲しいことは何かありますか。

⇒ オンラインの活用などをさらに加速し、「人」と「人」との繋がりがより多様化することを希望

4、東京の魅力について、生活様式の変化、衛生面を考慮すると、都心への通勤や夜間の接待飲食等の習慣が変わり街の機能に変化が起これると思われます。東京の新しい価値を創造する準備はしてありますか。具体的にご案内ください。

⇒ 「ポスト・コロナ」も見据え、第一線の経営者やIT分野の専門家など、幅広い方々からのご意見を賜りながら、東京の構造改革について、検討を進めていきたいと考えている。また、都民の皆様や大学研究者、医療機関、企業などから、「新型コロナウイルスを克服し、未来の東京を造るアイデア」の募集を行っている。

3月～5月新型コロナが蔓延し、小池都知事と伊賀 G の予定していた対談がキャンセルとなりました。

今回、4つの質問をメールでやりとりするという方法で回答をいただきました。回答の中で「新しい地域コミュニティづくりに、都からコーディネーターが派遣される」、そして「未来都市東京を造るアイデア募集」という二つのキーワードがありました。

新しい地域コミュニティづくりの取り組みに各クラブが参加し、新たな支え合いを創りあげてみてはいかがでしょうか。また、330-A 地区として未来都市東京の「人と人をつなぐ」（奉仕）のアイデアを積極的に提案して、東京の構造改革に関わっていくことが我々の存在意義を確かめる良い機会だと思われます。1950年代から東京の地域に根差して活動してきた私たちライオンズクラブが様々な経験を活かして活躍する時が来たのかもしれない。（取材者：談）

●奉仕活動の原点であるクラブアクティビティを、ご紹介致します。魅力あるこれらのクラブアクティビティは我々ライオンズメンバーの誇りです。

TOKI ビル前献血奉仕活動

2019年10月11日

5R2Z 東京江戸川東 LC

10月11日船堀 TOKI ビル前にて献血奉仕活動を行いました。
献血申込者数 53 名、献血者数 41 名でした。
クラブメンバーも 11 名参加して活動を行いました。

東京江戸川東 LC 幹事 L 板東誠



中川護岸落書き消し活動

2019年11月30日

5R2Z 東京江戸川東 LC

中川護岸にて葛西警察・清新第一中学校 生徒 40 名・町会有志メンバー・ライオンズメンバーで落書き消し活動・清掃活動を行いました。

毎年恒例になっている活動ですがこれからも地域の方々と協力して住みよい街づくりに貢献していきたいと考えます。

東京江戸川東 LC 幹事 L 板東誠



CONTENTS

- 表 2 — 特集：COVID-19 のパンデミック (感染爆発) を経験して
- 01 — クラブアクティビティ報告
- 04 — 特集：若手ライオンが考える After2020 『新ライオンズ活動様式』
- 07 — 特集：新型コロナウイルスのパンデミックから「新しい生活様式」へ

- 08 — クラブアクティビティ報告
- 10 — 特集：キャビネット三役座談会
- 12 — クラブアクティビティ報告
- 13 — キャビネット関連報告
- 19 — YCE レポート
- 20 — LCIF レポート

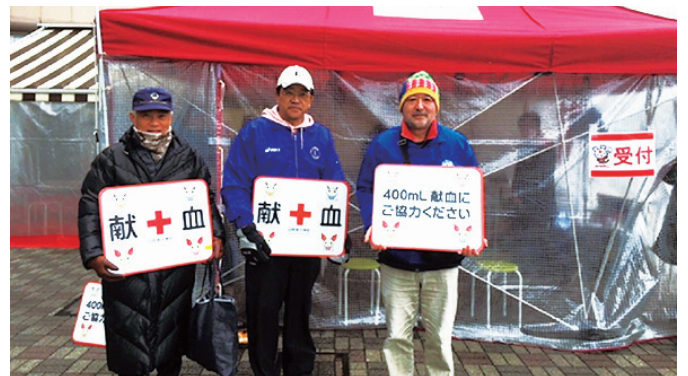
アリオ葛西店 献血奉仕活動

1月18日

5R2Z 東京江戸川東 LC

アリオ葛西店前 献血奉仕活動を行いました。
献血申込者数 46 名、献血者数 39 名でした。
非常に寒い中メンバーも 10 名参加して献血奉仕を呼びかけました。

東京江戸川東 LC 幹事 L 板東誠



マスク 2 万枚を地域社会へ提供

4月23日

11R1Z 東京新宿 LC



私たち東京新宿ライオンズクラブも2月初旬の『新宿区サッカー大会』(約1ヶ月半に亘る大会期間)の閉会式を最後に、全ての日程・アクティビティを実施出来ずに`stay home、の毎日が続いております。
5月19日に、当クラブで予定しておりました『創立60周年記念式典』も延期することを余儀なくされました。
そのような中、こんな時だからこそ出来る奉仕活動はないものかと、理事会メンバー・執行部は、知恵を絞り打ち合わせを重ねて参りました。
そこで、この時期、社会で不足しているマスクを日々過酷な労働を強いられている社会

のエッセンシャルワーカーの方々や各種社会施設でお困りの方々に援助・提供することが出来ないだろうか?と考えました。
幸い当クラブには、ライオン像(新名称:みらいおん)に頂いた募金、また、創立60周年記念式典の準備金等々もあることから、4月23日理事会有志とクラブ三役は、マスク2万枚をメンバー李晏萍Lの協力を得て、調達することを決めました。
手配から一週間、5月1日(金)午前中にマスク2万枚が新宿区役所に到着。
当クラブから伊井幹事他6名が出席して、吉住新宿区長にマスク2万枚をお渡ししました。区長を通して、地域への配布をお願い申



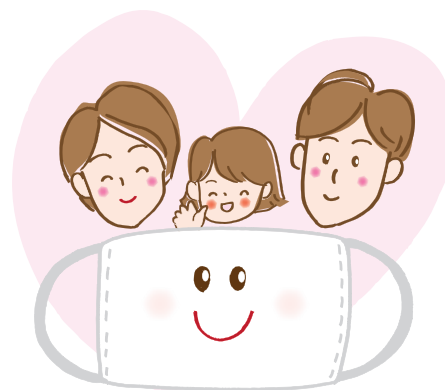
し上げた次第です。
尚、当日は、新宿新聞社の取材もありました。
東京新宿 LC 会長 L まるもゆきこ

新型コロナウイルスをぶっ飛ばせ！！

4月28日

8R2Z 東京神楽坂 LC

東京神楽坂 LC で新型コロナ対策のビデオを作成しましたので、ご覧ください。



新型コロナウイルス対策1
<https://youtu.be/1txKRfw8qY0>



新型コロナウイルス対策2
<https://youtu.be/pJP0vj9zbnC>



新型コロナウイルス対策3
<https://youtu.be/FP7NKMF3ptM>



8R2Z 東京神楽坂 LC L 荻野桂一

献血ご協力ありがとうございました

5月12日

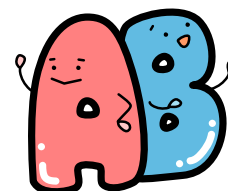
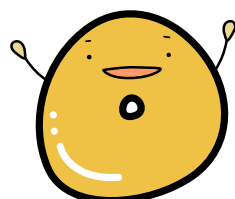
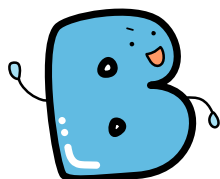
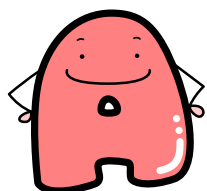
12R1Z 東京調布 LC



告知させて頂きました5月12日の献血活動、108名のご協力を頂き、無事終了いたしました。

330-A地区のホームページを見てわざわざ献血に来て下さった他クラブメンバーもいらっしゃり、胸が熱くなりました。ご協力頂きました皆様に心から御礼申し上げます。

東京調布 LC 会長 L 宝久雄



若手ライオンが考える After2020 『新ライオンズ活動様式』

100年に一度の有事、「We Serve」を繋いでいくために



東京スバル LC L三代 勝之



東京表参道 LC L細田 未央

2013年9月、流行語となった「お・も・て・な・し」プレゼンにより約半世紀ぶりとなる夏のオリンピック開催が東京に決まってから7年。2020東京五輪開催へのムードが加速するはずの令和2年弥生3月、新型コロナウイルス感染拡大により五輪開催は翌年へ持ち越しが決まった。4月には緊急事態宣言が発令され（全国民に向けては1941年12月真珠湾まで遡る）「100年に一度レベルの有事」とも叫ばれている。ライオンズメンバーのほとんどがこのような事態は未経験者であり、「答えない環境下」、先輩方が築き上げたライオンズ活動の伝統を継続&この環境に対応して次世代に奉仕のタスキを繋いでいくため、MCIT委員会の若手メンバーで「未来の奉仕」について意見交換を行った。（5月25日L細田、L三代 リモートTV会議システムで意見交換）

○若手の思うところ

※今回の件、どう動いた？

L三代

2月にまだインバウンド観光客でこつた返す大阪出張からの帰路、倦怠感と数年ぶりの嘔吐から高熱を出しました。周りに感染させてはまずいと翌日にコロナの診察を受けようと病院や保健所に問い合わせたもののPCR検査を簡単に受けさせて貰えない状況（中国の症例や感染経路情報から考えて、既に国内で広まりきっている可能性）を知り、その時初めてコロナが国内や事業に及ぼす危険度を自分事として捉えられました。翌日の2月7日から弊社では在宅勤務に切り替え、不要の出勤を控えています。

L細田

政府から新型コロナウイルス対策の基本方針としてテレワーク、時差通勤が推奨されたのは2月25日でしたが、早い時期から実施されていたんですね。3月に入り、「三密」の危険性が提唱され、テレワーク実施企業は急増したそうです。330・A地区でも次々とセミナー・アクティビティの中止が決定されましたね。私の所属する表参道LCでも、例会をはじめとした会議等、アクティビティとして毎週開催していた障害者ダンスレッスンを2月中旬より中止しています。

※個人や社会の変化を感じたか？

L三代

コロナ以前よりもSNSやニュースサイトアプリでの情報収集は意識しています。その中でもTwitterは重宝しています。3.11の東日本大震災以来ひさびさに本稼働させ「医師」や「感

染症の専門家”など一次情報に近い人を見付けてはフォローし、偏った意見だけでなく広く多様な意見を複数の発信内容から得て、今後の自分なりの予測を立てる日々が続いています。

L細田

この数ヶ月での社会の変化には、現状を打開するための個人工夫、そして事業者の知恵の数々が詰まっていると思います。様々なマスクの作り方が発信されたり、「STAY HOME」の呼びかけに伴い、SNSでは家での過ごし方やテレワークを利用したエンターテイメントがたくさん投稿されました。休業要請の対象であるスポーツジムやお教室では、オンラインレッスンで活路を見出そうという動きがありますし、飲食業では軒並み、テイクアウトやデリバリーサービスに力を入れました。酒造各社が消毒用アルコールの製造に乗り出したことも大きな話題となりましたね。今できることは何かと考えて行動に移すことが大切だと感じています。

L三代

そうですね。星野源さんの「うちで踊ろう」は特に色々な面でも話題性がありましたね。

※今後は？

L三代

今後については、「密が前提」でこの先厳しいと予測されている各業界について、改めてここで私の素人意見は無用だと思つので省きますが、やはり「特に屋内で」人が集まる場や「不特定多数と対面で話す、接する、手渡す」という環境を、控えるべき・減らすべき。という世の中の風潮は続くのだと

感じています。

〔細田〕テレワークもオンライン活用も、目新しいものではないですが、コロナ禍をきっかけに急速に導入が進みましたし、今後はさらに進化したビジネスモデルが誕生することにも期待しています。また、ライオンズ活動においても、オンライン会議やSNSを活用した広報活動など、より有効で効率的な活動に向けて、新たな一歩を踏み出したところですね。

○新活動様式への提案

※「人が集まる」「不特定多数と対面で話す、接する、手渡す」は例会やアクティビティにも響きますね。

〔細田〕実際、どのクラブでも例会は中止せざるを得なくなりましたよね。

〔三代〕そうですね。何か代替案を見付けられるといいのではないのでしょうか。

例えば、例会や各委員会ミーティングなどは最近活用が広がっているZoomやGoogle Meetなど応用できそうです。

〔細田〕MCIT委員会でもZoomを利用して

《企業のオンラインミーティングなどに活用が進んだサービス一覧》

- Zoom
- Microsoft Teams
- LINE
- Facebook Messenger
- Google Meet
- Skype
- Cisco Webex Meetings
- Remo
- Spatial chat

したね。私は今回初めて利用したので、操作方法など手探りで、正直、前半の会議内容が頭に入ってきてませんでした。クラブ等で利用する際は、慣れない人のために練習回があるといいかもしれません。

〔三代〕

そうかもしれません。習い手の方にスマホ、教え手の方にスマホ&PCさえあれば、例えばこの方法を活用すると「分からない方向けのZoom活用講義」なども設けられると思います。実際の操作手順と一緒にスマホやPCの画面を共有しながら設定を進められるので、操作方法の分からない方にも易しいです。
<https://app.lia.into/smartphone-display-pc>



〔細田〕今はオンラインを利用しながら、今後の活動は厚生労働省より出された新生活様式の提案や、業種別ガイドラインも踏まえてどう実践できるか考えていきたいと思います。

〈例会、理事会等における実践例〉

◆オンライン編

- 共通のSNSを利用する
- ホスト以外ID不要のアプリを利用する
- 慣れない会員向けに練習回を設ける
- 進行を円滑にするため議事を事前に伝える

◆対面編

- マスク着用、換気を徹底
- 消毒を受付に常備、消毒してから入室
- 2m間隔を空けて、横並びに着席
- 仕切りを設けると尚良い
- 食事は大皿料理ではなく個々に
- 名刺交換も名刺アプリを用いてデジタル化

〔細田〕4月19日(日)に開催を予定していた東京都障害者ダンス大会「ドレミファダンスコンサート」

は中止、当日は限られたスタッフのみで、30分間のダンスタイムをFacebook、YouTube、Instagramにてライブ配信しました。次回は10月4日(日)の予定ですが、「集まって、ふれあつて」のアクティビティですので、今後の開催方法は社会情勢を鑑みながら検討していきます。ただ「奉仕とは当日を迎えるまでの過程にある」と教わっていますので、できる限りの準備はしていくつもりです。

具体的には

- ・会場は確保済み、出演団体募集など開催への準備は通常通り進めている
- ・会場施設は利用可能か、出演団体・協力団体は参加可能か、参加方法の判断を伺う
- ・対面で障害のある方を招待できるかを判断

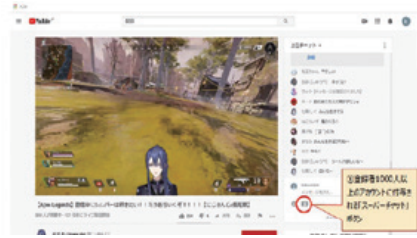
※「これがダメならこう工夫しよう」と、パターンを想定して考えておくのが良いと思います。

〔三代〕私はまだライオンズ歴1年ほどでアクティビティの種類に疎いのですが、自クラブを例に取れば一案として、添付写真のYouTubeのメンバーチャット機能を活用し、配信用URLをメンバー間やSNSなどで共有・公開することで「集まらずに、寄付先の活動を広く知らせ、募金を募る方法」もあるのではないかと考えています。

チャンネル登録者数が「1000人以上のアカウントであること」など利用するには現時点では諸条件あり、今はゲーム関連動画やギャンブル解説のチャンネル運営者など限られたユーザーが活用しているようです。ただ、ハードルとされる「1000人以上のチャンネル登録」はライオンズの規模があれば早期到達可能な数値であり、何よりも「We serve」の理念のもと、この機能の利他のための活用案を示し、ライオンズが模範となる

ことにも意味があるのではと思います。
※Youtubeを用いるのはあくまで一例。

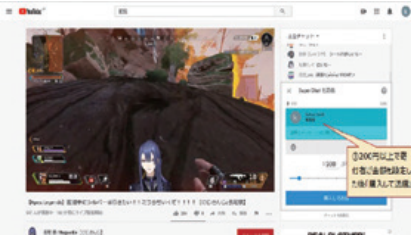
他の方法を組み合わせる事で30%の手数料を削減し、より寄付に充てる方法もあります。



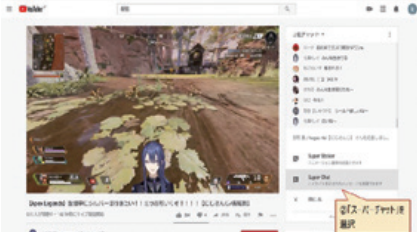
[1] 指定 URL から Youtube へ



[3] 決済画面



[5] 所属名や氏名などコメント表示可能



[2] 寄付出来る物はチャット欄から寄付



[4] クレジットで即決済反映



[6] 手数料 30%引かれ 70%を寄付

例えば、動画組み込みや動画配信方式に拘らない場合は、寄付型クラウドファンディングでも活動を広報しつつドネーションも出来そうです。

(参考情報) 主要な寄付型クラウドファンディングの手数料例

・「A-Rort」：20% (決済手数料込)

朝日新聞社が運営し、多数の関連媒体にプロジェクト情報の掲載可能。

・「LIFULL」：15%

国内最大級の寄付型クラウドファンディング
・「Ready for Charity」：17% (決済手数料込)
購入型クラウドファンディングで有名な「Ready for」の派生サービス。

・「宙とぶペンギン」：10%
手数料が国内最安値の寄付型サービス。

勿論、アナログの活動は直接人や顔が見えたり、そつすることによって信用を得やすいという良い面は有るはず。ただ、動画やYouTube (スーパーチャット) というデジタル環境を活用することで、更に広域に、ライオンズの活動は勿論本来訴求したい「アクティビティの目的を広める」術になるのではと考えています。これまでと大きく状況が変わった以上、従来のやり方ではなく、環境に応じたドネーションの形を考えるキッカケとなるのかもしれない。

〈アクティビティにおける実践例〉

◆オンライン編

- イベントはライブ配信
- 広報活動は動画等を作成し SNS にて発信
- 寄付の呼びかけはクラウドファンディングやチャット寄付機能を用いる

◆現場編

- 必要最小人数にて運営
- 事前告知を徹底し、密の無い対応
- 一方通行の導線
- 混雑しない人物配置、設営を工夫
- 受付時には消毒と体温測定の実施

○まとめ

5月25日緊急事態宣言は全面解除となったが、第二波、第三波は一度終息した後の中国を見る限り、「当然あるもの」と想定しておくべきだろう。そんな先行きの見えない中でも、当たり前の日常が壊されたことにより社会全体が進化しようとしている。しかしそのためには、コロナ禍で浮き彫りになった課題から目を背けず、誠実に対応していくことが必須である。その進化する社会の中で、我々ライオンズクラブはどうあるべきか。その存在意義を改めて問うたメンバーも多いのではないだろうか。

「ニーズがあるところにライオンズがいる」「Beacon of Hope

いまだ、奉仕の原点を見つめ直してみよう。何のため、何を守るため、何を成し遂げるためにライオンズとなったのか。

我々の答えは常に「We Serve」である。共に知恵を出し合い、この困難を乗り越え、次なる進化を遂げるチャンスにしていこう。良いものは継承しつつ、新たな様式にも柔軟に対応していくことで、より良い奉仕活動の実践に繋がると信じていたい。

「ノーブレスオブリージュ」が

ライオンズクラブの原点

(noblesse oblige) (ノーブレスオブリージュ)
身分の高い者はそれに応じて果たさねばならぬ社会的責任と義務があるという、欧米社会における基本的な道徳感。

新型コロナウイルスのパンデミックから「新しい生活様式」へ

私たちライオンズクラブの理事会・例会・アクティビティは
これからどのような姿になっていくのでしょうか？

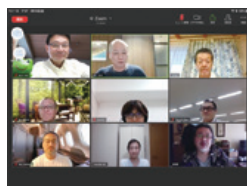
マーケティング・コミュニケーションIT委員会メンバーが、知り合いの3つの（地域経済団体、若手経営者交流会、ボランティア系）団体に現在の運営と今後の活動方法についてインタビューを行いました（5月10日、13日、21日）。

取材は、メール、電話、リモート交流会への参加等で行い下記の3つの項目について聴き取りました。なお、取材時は緊急事態宣言中で先行き不透明な状況であった時期のため、解除された今は運営・活動自体が変化している可能性があります。

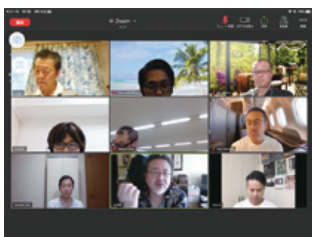
記

- ① 三密を避けるための方法として
- ② 大きな会合（月例会・理事会・地区での定例会）の運営
- ③ アクティビティ（事業）について
- ④ インタビュー取材をしての感想

①各団体全て Web によるリモート会議（ZOOM等のソフト）システムを利用し開催していました。感染源、クラスターとなつては地域の方々、職場の迷惑となるので「むんむん」「ぎゅうぎゅう」「がやがや」の無い話し合いの環境としてリモート会議を行っていました。若手経営者交流会では、パソコン等ITのスキルがほぼ平均化しているデジタルネイティブの世代で、2月末から限られた役員は現場で会議、他の構成員はZOOMにて参加という形態をとったそうです。長時間のリモート会議は疲労が激しいとの情報もありました。



②月例会や100名を越える会合について、地域経済団体ではZOOMを利用して20-30分役員等が例会の趣旨を説明して、その後ブレイクアウトルーム機能を用いて少人数で30分程度の分科会を行っているとのこと。その中から新しいFB（Facebook）仲間が出来たことや多くの発言ができたこと好評



活動の内容を発信していく方向で動いています。

③アクティビティ（事業）については、多くの団体で3月～5月までは、中止または延期。事業計画が協議・審議されていない状態のアクティビティ（事業）が多く、再開のめどが立っていないという。ただ正式な事業登録をしない方法で、3月

から学校へ行かれない地域の子どもたちへのWebを利用した教育系コンテンツ配信や食事を届ける事業を独自に行っている地区もあるそうです。自宅学習・給食のないこの時期のニーズに迅速に対応した素晴らしい活動とと思いました。

また、ボランティア系団体は、地区役員の会合や次年度役員



集まりなどすべてキャンセルになった資金で、医療機関にマスクや医療器具を届ける活動を各所で行っています。また、海外への青少年派遣は対象が高校生なので中止し、1年スライドさせる予定。大学院生の米国東海岸都市は受け入れ困難、英国の大都市は可能性ありで現在調整を行っている。

④三密を避けるため、リモートでの会議・打ち合わせは、各自がWeb環境を整えインターネットを通じて行っている団体、会がほとんどでした。今回の緊急事態宣言を受け、今更ながらスマートフォン、パッド、ノートパソコン等を利用できる環境を整えることが「新しい生活様式」には必要と感じました。

また、リモート会議の運営として大人数で会議をする場合には、画面に映し出される人数が限られ、画面の切り替え作業などを考えると8～12名くらいが適正と既に多くの会合をリモートで行っている団体、会が経験談を語ってくれました。

一方、外出自粛のため自身のビジネスが円滑に行えていない、またはICTやリモート技術、流通などで忙しすぎるメンバーが存在しており、各団体とも退会を防止するための方法を模索している状態にあるようです。また2か月以上もアクティビティ（事業）が無くメンバーのボランティアへのモチベーション維持について苦慮している団体もありました。さて、今後の「We Serve・奉仕活動」については、自身のビジネス・事業が元気になったその上で、時代のニーズに合った（衛生管理・三密を避け）身近にできることから始めることが重要だと改めて感じられました。



結びに緊急事態宣言発令の下、取材をお受けいただいた団体の皆さまに感謝申し上げますとともに、新しい生活様式、NEW NORMAL（新状態）へ対応して、「心豊かな社会」を一緒に創っていかれるよう、近い将来にはお互いが得意な分野を補完し合いながら運動していければと思います。

外国人留学生の生活支援 5月14日

2R3Z 東京みやこ LC



当クラブは継続アクティビティとして外国人留学生宿泊施設への食料支援をしています。

今回、各国の国費留学生の生活拠点「ウィザードハウス」に生活している学生たちより支援当初からお付き合いのある当クラブメンバー渡辺しに「新型コロナの影響でアルバイトが無くなり生活に困っています」



との相談がありました。すぐにクラブ執行部等で対応を協議、支援する事を決定しました。5月14日に渡辺しと事務局の田口しが河合会長の手紙を添えて、支援金（計18万円）を施設に持参しました。

留学生達からは「たいへん助かります！」と感謝の言葉があり、後日感謝のメッセー



ジが当日不在だった留学生からも届きました。

東京みやこ LC

テールツイスター し田口秀明

港区に医療用マスク 1,500 枚を贈呈！ 5月14日

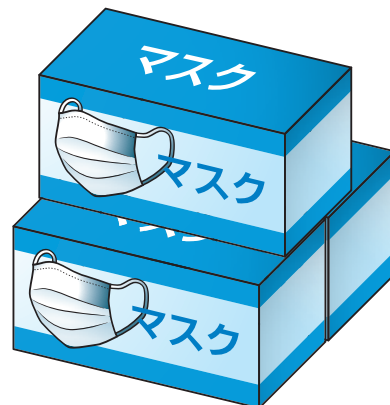
3R3Z 東京赤坂 LC



5月14日（木曜日）に東京赤坂ライオンズクラブでは、医療用マスク1,500枚を港区に贈呈しました。

新型コロナウイルスの対応に追われる医療機関の従事者に渡ります。

東京赤坂 LC 幹事 し大和田尚子



5月14日八王子市にマスク10,000枚寄贈

5月14日

14R1Z 東京八王子高尾 LC



東京八王子高尾ライオンズクラブは、新型コロナウイルスの影響でクラブ活動は3月より全く行えない状況、4月にはツリークライミング、6月にはチャリティーコンサート等の大きなアクティビティを企画するも全て中止に。
今期残り何ができるのかとクラブの仲間で

考え、マスク不足の少しでも解消になればと八王子市へ10,000枚のマスクを寄付した。

4月30日にも八王子市内の病院 北原国際病院へマスク1,500枚寄贈している。

東京八王子高尾 LC クラブ幹事 L 山田新一



八王子4クラブ合同マスク寄贈

5月22日

14R1Z4 クラブ合同



2020年5月22日(金)八王子市市役所に於いて新型コロナウイルス感染症対策の一環として、東京八王子中央 LC、東京八王子いちょう LC、東京八王子陵東 LC、東京桑都 LC の4クラブ合同により八王子市へマスク1万枚の寄贈を行った。

贈呈式には、ライオンズクラブ国際協会330-A地区第14Rリジョン・チェアパーソン L 太田 正利(東京桑都 LC 所属)はじめライオンズクラブ国際協会330-A地区

第14R第1Zゾーン・チェアパーソン L 岩崎 盛司(東京八王子中央 LC 所属)、ライオンズクラブ国際協会330-A地区 GST 環境保全委員会 委員長 L 小方 一博(東京八王子いちょう LC 所属)、ライオンズクラブ国際協会330-A地区マーケティングコミュニケーション・IT 委員会 副委員長 L 根岸 雅也(東京八王子いちょう LC 所属)、東京八王子中央 LC 会長 L 今井 治、L 福安 徹、東京八王子いちょう LC 会長 L 阿久井 義人、L 西山 賢、L 石井 真由美、八王子市市長でもあります L 石森 孝志、東京八王子陵東 LC 会長 L 蒲生 強が参加した。

贈呈式では、石森 孝志 八王子市市長へマスク1万枚が手渡され、新型コロナウイルス感染症対策について対談が行われた。

最近ではドラッグストア等にマスクが並び始めてはいるが、八王子市市内の医療機関

等で未だマスクが不足している状況が続いており、今回寄贈を行ったマスクは直ちに八王子市市内の各医療機関等に配布されること。

新型コロナウイルス感染症の影響で輸血用血液が不足している状況も深刻な問題となっている。

今回寄贈に訪れたライオンズメンバーは6月に実施予定の献血活動についても意欲を見せ、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願い対談を終えた。

マーケティングコミュニケーション・IT 委員会 副委員長 L 根岸 雅也



キャビネット三役インタビュー

襷をつないでいきたい事



キャビネット幹事 L 上野 繁幸



地区ガバナー 伊賀 保夫



キャビネット会計 L 阿部 かな子

①1年間を振り返って、ライオンズ100年の伝統を感じた事柄、活動を挙げてください。その中で、特に襷をつないでいきたいことはどんなことですか？

伊賀ガバナー

ライオンズクラブが国際的な組織であることは入会以来実感しており、今期だけでもシカゴの研修・ミラノ国際大会・広島オセアルフォーラム・ケニア・ミャンマー・北京を訪問しました。ライオンズクラブが素晴らしいのは「L字」パッチ一つで世界中の人々が同じ認識でいてくれる事です。この100年間、世界中で同じルールや文化で作りに上げたものだからこそ、我々の活動も含めて海外でも同じ「ライオンズ」として認識してくれることが嬉しいです。

国内も同様で、私たちは「繋いでいく」という意味は、ライオンズの先輩方が作り上げた誇りとライオンズ活動・存在が地域社会で認知されている事であると思います。

だからこそ私たちが社会の中でリーダーシップを持ち、地域の模範となる事がこれからも大事であると感じています。

「L字」パッチを付けているからこそ、知らない方でもコミュニケーションが取れる事や、ライオンズの繋がりは私たちが意識している以上に意味があり、自分自身を律しなければならぬと考えています。

上野幹事

ライオンズクラブ国際協会が100年を超えて、新たなスタートを迎えてアクティビティも少しずつ変わってきたと感じています。その中でも今期の伊賀ガバナーは、今までのクラブアクティビティをどんどん吸い上げ、キャビネットが応援する形を取ってきました。残念ながら後半は新型コロナウイルス感染症の影響で、全てのアクティビティが出来なかった事は非常に悔いが残ります。

しかし、各クラブが多様なアクティビティを行っている団体であることを、再認識させて頂きました。

各クラブがどのような活動をしているのかを見て知って頂き、広めていく・PRしていくことが大事であると感じました。

阿部会計

伊賀ガバナーは各クラブの色々なアクティビティを第2・第1副地区ガバナーの時から体験し、経験してきました。このアクティビティはライオンズだけではなく、社会にも広めるべきだと考え、伊賀ガバナー期にキャビネットで応援しようと実行できたと感じています。

そして一般も巻き込めるアクティビティを今期だけではなく、続けて繋いでいくことが大事ではないかと感じています。

社会に必要とされているアクティビティを続けて繋いで頂きたいと心から思います。また、100年の歴史やルールを大事に思うだけでなく、学び、そしてその学んだことを伝え、繋いでいけたらと思っています。

②今期は千葉の台風被害から始まり、年明けには世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延と緊急時の対応に追われていたと思いますが、ガバナーという立場だからこそ、これらから学べたことは何でしょうか？

伊賀ガバナー

強いリーダーシップを持って決断していかなければ、物事が進まないと感じました。例えば台風19号では被災後、時間が経過する毎に被災地からの欲しい物資の内容が変化していきました。

募金活動を経て物資を購入する事も必要ですが、時間との勝負だったので「愛の泉資金」をガバナー権限で先に出させて頂きま



③ キャビネット三役、副幹事も含めた幹事団が「ONE TEAM」になるように心がけてきたことは、特にまとめ役の上野幹事にコメントお願いします。

上野幹事

今期の幹事団は準備会の期間含め、ミラノ国際大会からスタートし、第一回キャビネット会議・ガバナー公式訪問と重要な行事が進みました。

副幹事には、リジョン・ゾーン・委員会の担当をして頂き、定例会報告でお互いがフォローしたり、現場で学んだことを伝え合うという方法でお互い成長しあう様子がありました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、副幹事の役目が半分しか出来なかった事は、心残りです。

阿部会計

幹事とはこういう役目であるという事を上野幹事には見せて頂いたと同時に、「ONE TEAM」を築けたのだと思いました。

常に「Elegant Heart」が大切と思っていましたので、実行してきました。

④ 今後のライオンズ活動に付いて、集まっただけのアクティビティや継続されてきたスポーツ大会・フェスティバルなどが中止や順延となる中、ライオンズクラブがそれらを支援していく方法や新たな活動を見出す時期だと考えられます。

若い三役の「新しいアクティビティ」の見出し方、支援の仕方、アイデアを披露ください。

伊賀ガバナー

今期キャビネットが取り上げたプロ

ジェクトで、東京2020ライオンズクラブのキッズフェスタ、東京神宮ライオンズクラブのロイヤルバレエ団の2つはいずれも新規アクティビティでした。

単一クラブでは前向きな意識になりにくい傾向があるので、キャビネットがクラブのアクティビティを支えた事は、大きかったと思います。

色々なクラブが支えて、団結の力で大きなアクティビティとして、みんなで楽しもうとする事が、新しいアクティビティを起こす一つの方法なのかと感じています。

⑤ 最後にこれだけは言っておきたい事があれば。

伊賀ガバナー

今期の国際会長方針【We Serve through "Diversity"】「多様性を通してWe Serve」

ダイバーシティ(多様性)は色々な地域社会の方がいて、様々な国籍の方や男女であったり、330-A地区も色々な環境のメンバーがいらっしゃいます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、お仕事が大変なメンバーもいらっしゃると思いますが、メンバー同士で助け合うこともお互い必要ではないかと思っています。

上野幹事

アクティビティには表には見えない苦労と協力の下に成り立っています。

アクティビティを、クラブ単位・ゾーン単位・リジョン単位と大きくし、キャビネットが応援する事で、更にパワー

アップし皆さんで楽しみながら奉仕が出来る事になれば、更に嬉しいと思います。

阿部会計

各クラブの良いアクティビティのやり方支援の仕方を見直し、ゾーン・リジョン・キャビネットに協力や応援を頼む事ができるか、見直す時期なんじゃないかなと思っ

ています。社会に必要なアクティビティをもっと大きく広げていき、ライオンズクラブが世の中に認知され、素晴らしい・入会したいという風になっていくのではないかと思っています。



10R1Z 東京渋谷 LC



今年3月から頻度を増した新型コロナウイルスの報道に、言い知れぬ不安と、一方で命をかけて国民をその猛威から守ろうと懸命に活動しておられる方々へ何か支援したい、という熱い思いが、報道を見る度に強くなっていきました。

更に、クラブ内でも数名いる飲食業の仲間は、厳しい状況であろうと想像でき、ならば、この両方に少しばかりの心の支援ができないか？と考えたのがこのアクティビティの始まりです。

幸い、年間のクラブ事業費の当初予算をふりむけてはどうか？と思ったことも行動に出やすい条件の1つでした。

この3つを満たすアクティビティをクラブ内の仲間に相談し、同意であることを確認して何度も意見を重ね、クラブ理事会の承認を得て、素晴らしい実りを得た活動ができたと思っています。

①コロナ禍でも最前線で都民の命を守ってくださる消防署救急隊の皆様へお食事を提供し、感謝と応援の気持ちを表す。

(8回にわたり短期集中で提供。1回80食。6カ所に分かれている渋谷区内の消防署の本署・分署にメンバーが手分けして届ける)

②飲食業のクラブの仲間にお弁当を作ってもらう。

③お弁当代金は、今期末使用だったクラブの事業費で対応する。

というストーリーでスタートしたこの活動は、

入会歴3年未満のメンバーで実行委員会を構成しました。

初アクティビティ体験の人が殆どでしたが、その輪は回を重ねることに広がり、かかる多少のトラブルを都度皆で話し合い、解決しながら遂行していくその時間軸の中で、仲間の絆が深まり信頼感が構築され、8回の活動が無事に終わった時には言い知れぬ達成感と充実感を共有することができました。

多くの実りを得たこの度のアクティビティは、東京渋谷ライオンズクラブと若き実行委員会一同の誇りと思っています。

東京渋谷ライオンズクラブ

アクティビティ委員長 L 渡辺軍寿

(文責：実行委員 L北岡知子)



第 66 回年次大会議案の開票結果 4 月 25 日

4 月 25 日キャビネット事務局において、第 66 回年次大会議案の開票が行われました。

4 月 24 日には資格審査委員長 L 荻野桂一の審査を受け代議員数 561 に返信数 495 と無効票が確認されたの開票結果を報告いたします。



**ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
2020～2021 年度地区ガバナー信任投票**
投票総数 495 票 有効票数 468 票
無効票数 27 票

東京世田谷ライオンズクラブ L 進藤 義夫
信任 448 票
不信任 20 票

**ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
2020～2021 年度第 1 副地区ガバナー信任投票**
投票総数 495 票 有効票数 463 票
無効票数 32 票

東京新宿ライオンズクラブ L 中井 正力
信任 448 票
不信任 15 票

**ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
2020～2021 年度第 2 副地区ガバナー信任投票**
投票総数 495 票 有効票数 461 票
無効票数 34 票

東京田無ライオンズクラブ L 増田 正明
信任 433 票
不信任 28 票

以上の結果を踏まえ地区ガバナー、第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナーの信任が指名・選挙管理委員会委員長 L 橋本光祥より報告されました。



ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区 議案 4～11 投票結果

議案 4 2019～2020 年度 330-A 地区上半期会計報告書承認の件

投票総数 495 票 有効票数 438 票
無効票数 57 票
承認 437 票
非承認 1 票

議案 5 2018～2019 年度 330-A 地区会計報告書承認の件

投票総数 495 票 有効票数 438 票
無効票数 57 票
承認 436 票
非承認 2 票

議案 6 2020～2021 年度地区クラブ費として 1 クラブ 1 ヶ月 2,000 円抛出の件

投票総数 495 票 有効票数 437 票
無効票数 58 票
承認 419 票
非承認 18 票

議案 7 2020～2021 年度地区費として 1 メンバー 1 ヶ月 680 円抛出の件

家族会員（二人目以降）、学生会員は免除
*但し、新型コロナウイルスの影響を鑑み、負担軽減の観点から、全会員について 3 ヶ月分を免除する。
投票総数 495 票 有効票数 439 票
無効票数 56 票

承認 424 票
非承認 15 票

議案 8 2020～2021 年度地区大会費として 1 メンバー 1 ヶ月 150 円抛出の件
家族会員（二人目以降）、学生会員は免除
*但し、新型コロナウイルスの影響を鑑み、負担軽減の観点から、全会員について 3 ヶ月分を免除する。
投票総数 495 票 有効票数 439 票
無効票数 56 票

承認 420 票
非承認 19 票

議案 9 2020～2021 年度 330-A 地区アクティビティ・スローガン決定の件

「輝け!クラブ 楽しもうライオンズライフ」
東京世田谷ライオンズクラブ
投票総数 495 票 有効票数 438 票
無効票数 57 票

承認 429 票
非承認 9 票

議案 10 2020～2021 年度 330-A 地区第 67 回年次大会開催地選定の件

投票総数 495 票 有効票数 437 票
無効票数 58 票
承認 434 票
非承認 3 票

議案 11 330-A 地区キャビネット事務局を一般社団法人化する件

投票総数 495 票 有効票数 403 票
無効票数 92 票
賛成 326 票
反対 77 票

以上の結果を踏まえ 2020～2021 年度議案 4～11 の承認が決議委員会 委員長 L 橋口啓一より報告されました。
取材: マーケティング・コミュニケーション・IT 委員会



全国骨髓バンク推進連絡協議会よりガバナーに感謝状が贈呈 5月14日

感謝状授与について

【設立30周年記念総会にて(1990年設立)】

認定NPO活動法人
全国骨髓バンク推進連絡協議会
副会長 渋谷俊徳



貴ライオンズクラブ国際協会330-A地区ガバナーはじめ全メンバーに対し、1995年より全国のライオンズクラブ又、諸団体のボランティア活動の先頭に立ち私共の全国骨髓バンク協議会の活動をご理解頂き今日に至るまで25年間の永きにわたり継続して活動して頂いた事、又骨髓バンク活動を全国の各地区ライオンズクラブのアクティビティに取り入れる事を推進し啓蒙して頂いた事に対して今期ガバナー伊賀保夫様に感謝状を贈呈致します。

今後共引継ぎ、貴ライオンズクラブの増々のご支援をお願いさせて頂くと共にここに感謝の意を表します。

5月14日の木曜日 認定NPO法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会 副会長 渋谷俊徳氏(新都心LC所属)より伊賀ガバナーに感謝状が贈呈された。

取材: マーケティング・コミュニケーション・IT委員会

《新宿アルタにて》
新都心LC会長 若林敬造
地区ガバナー 宇田川雄弘



募金活動



1995年10月5日国際ライオンズデー

東京都へマスク 30,000 枚寄贈 5月14日



5月14日 伊賀ガバナーと上野幹事、阿部会計のキャビネット3人は東京都庁において東京都病院経営本部 堤 雅史 本部長にマスク 30,000 枚寄贈の報告を行った。

このマスクは4月10日 LCIF より10万ドルの交付を受け20万枚のマスクを購入。これを感染者数の割合で東京都に割り当てられた30,000枚である。

今回の支援を受けて堤 本部長より多くの感謝の言葉と共に、未知のウイルスとの戦いの最中である現状を理解して頂き、今後と



も継続した支援をお願いしたいとの要望があった。

また、ライオンズクラブ国際協会330-A地区よりのマスク寄贈が、5月15日に東京都病院経営本部から東京都新型コロナウイルス感染症対策本部へ報告された。

マスクの配布先と枚数は以下の通り

東京都立広尾病院 4,000 枚
東京都立大塚病院 4,000 枚
東京都立駒込病院 4,000 枚
東京都立墨東病院 4,000 枚



東京都立多摩総合医療センター 4,000 枚
東京都立小児総合医療センター 4,000 枚
東京都立松沢病院 4,000 枚
東京都病院経営本部 2,000 枚

第 12 回コーディネーター ZOOM 会議 5 月 18 日



第 12 回コーディネーター ZOOM 会議が令和 2 年 5 月 18 日（月）10 時 30 分から 12 時で行われた。

伊賀保夫地区ガバナーはじめ、進藤義夫ガバナーエレクト、中井正力次期第 1 副地区ガバナー予定者、増田正明次期第 2 副地区ガバナー予定者（現 GLT 副コーディネーター）、佐久間洋一 GLT コーディネーター、中村安次 GMT コーディネーター、御厨正敬 GST

コーディネーター、島田光子 FWT コーディネーター、小林幸栄 FWT 副コーディネーター、梶原正和運営改革室長、上野繁幸幹事、阿部かな子会計、今回は 12 名の参加で行われた。

佐久間コーディネーターの進行で始まり、伊賀ガバナーからの挨拶
続いて各コーディネーターからの報告と、今

後の予定についての発表があった
協議事項では

(1) コロナウイルス感染時のクラブ活動として各クラブの回答をふまえ、会員維持対策、会費減免などを議論された。

(2) Web 会議の推進方法として、体験セミナー、キャビネット会議、ZC セミナー等の開催などの議論をされた。

コロナ後の社会情勢の中で、より有効で効率的なライオンズクラブの運営や奉仕活動の方向性を思案した第 12 回コーディネーター ZOOM 会議であった。

今回の開催予定は令和 2 年 6 月 8 日（月）10 時 30 分から 12 時 ZOOM 会議で行われる

キャビネット幹事 L 上野繁幸

マスク配布プロジェクトについて



今期はガバナー方針により、各クラブのアクティビティを支援するという目的で事業企画室を設け、ガバナー公式訪問時にお預かりしたドネーションを活用してクラブアクティビティをプロジェクトとしてサポートさせて頂いてまいりました。しかし、新型コロナウイルスの影響でいくつもの事業が

中止になってしまいました。そこで、準備しておりましたプロジェクト余剰金と年次大会に宛がう予定にしておりました予算の一部を併せて「マスク配布プロジェクト」を企画致しました。具体的には、50,000 枚のマスクをご用意し、5 月中には皆さまの地域に配布可能になるよう手配を進めております。地区ガバナー方針にもございます「団結の力」を柱に、各ゾーン単位で 1,000 枚強の割り当てが可能ですので、ぜひゾーン単位で地域アクティビティにご活用いただければ幸いです。クラブ毎にご希望の際もゾーン・チェアパー

ソン経由でのお申し込みをお願い致します。下記申込書にゾーン名、必要枚数、配布先をご記入の上、お申し込み頂きたい申し上げます。締め切り後集計し、ご希望の支援先に皆さまのクラブ名（ご担当者名）を記載の上、直接送付も可能です。基本はゾーン単位での支援ですが、ゾーンで支援先がわかれたりした場合、分割配布も可能ですのでゾーン・チェアパーソンにご相談ください。ゾーンの団結を次期に繋げて参りたいと思います。

数に限りがございます。330-A 地区には 35 ゾーン 198 のクラブがありますので、ご希望に沿えない場合もありますが、よろしくご理解のほどお願い申し上げます。

公益財団法人東京都障害者スポーツ協会を訪問

6月5日

6月5日金曜日13時より 伊賀ガバナー、梶原キャビネット運営改革室長、屋代スペシャルティクラブコーディネーターは公益財団法人東京都障害者スポーツ協会を訪問し、年次大会記念事業の第21回東京都障害者スポーツ大会特別協賛金を贈呈。

年次大会記念アクティビティとして、新型コロナウイルス対策プロジェクト マスク1,800枚を贈呈した。

また、永続の東京都障害者スポーツへの支援活動に対しての感謝状を拝受した。

菊池和則専務理事事務局長、武川博音経営企画部長との会談では、新型コロナウイルスを受けての第21回東京都障害者スポーツ大会、10月開催、鹿児島県での全国大会の開催も未定となっている件や、6月20日開催の「令和元年度第2回総会」で伊賀ガバ



ナーが協会理事への就任の報告を受け、次回からの東京都障害者スポーツ大会開会式・閉会式では、ライオンズ関係のご挨拶をガバナーとLC理事、万歳三唱をガバナーエレクトとするなどの発案を頂いた。会談の終わりには、双方のホームページをリンクさせての情報交換と相互連携活動を推進する事で一致した。

スペシャルティクラブコーディネーター
L 屋代誠一



一般社団法人 協力隊を育てる会を訪問

6月5日

6月5日金曜日14時30分より 伊賀ガバナー、梶原キャビネット運営改革室長、屋代スペシャルティクラブコーディネーターは一般社団法人 協力隊を育てる会を訪問し、年次大会記念アクティビティとして、新型コロナウイルス対策プロジェクト マスク1,800枚を贈呈。

キッズフェスタ in 大井競馬場及び日比谷公園ガーデニングショープロジェクト(途上国民芸品販売4か国出店)協力感謝状を贈呈した。

奥永眞智子常任理事、伊藤聡一郎事務局次長事業部長との会談では、「協力隊を育てる会」の、JICA 海外協力隊のサポート活動や、(帰国隊員進路 & 活動支援や派遣先途上国支援「小さなハートプロジェクト」等)協力隊より子供食堂へ食糧援助4回、災害被災地へカレンダー600部の支援協力などの詳細の説示を受けた。

また、全国の協力隊支援支部とライオンズ



の全国組織が連動した連携活動を模索する。双方のホームページをリンクさせて、情報交換と相互連携活動を推進するなどを発案。

JICA との連携協定の道を提案され、今期中の会合を企画提案を約束された。

スペシャルティクラブコーディネーター
L 屋代誠一



私からあなたへ MCIT 委員会有志プラスG



2019-2020 DISTRICT 330-A
TOKYO, JAPAN LIONS CLUBS INTERNATIONAL

夢と希望をつないでゆこう

NEW NORMAL (新状態) へ



「新しい生活様式への対応」 with COVID-19(共存していく)



ら「新型コロナウイルス感染拡大対応」テーマのビデオを配信。約1,000回の再生があり多くの方々に「三密を避け、衛生管理の徹底、そして2週間の行動記録の重要性」を発信しました。

今回、全国各地で緊急事態宣言が解除され、「新しい生活様式への対応」with COVID-19 (共存していく)

2020年4月7日に安倍首相から緊急事態宣言が発せられ、不要不急の外出の自粛要請が全国に広がり、その日から市民一人一人が少しずつ努力を重ね、5月下旬になり新型コロナウイルスの感染拡大の速度を抑えることができていると思われま

す。ちょうど宣言が発せられた時同じくして、330-A地区伊賀保夫ガバナー(以下G)か

をテーマに伊賀保夫Gから皆さまへメッセージビデオをリモートで作成いたしました。

コロナと共に生活していくライフスタイル、新クラブ運営の情報が盛りだくさんです。

是非ご覧ください。

(3分15秒の動画 撮影: 330-A地区伊賀保夫ガバナー 企画編集マーケティング・コミュ



ニケーション IT 委員会)

末筆ながら、メンバーの皆様とご家族のご健勝を心より祈念いたします。

【次期三役セミナー】ライオンズクラブ 国際協会 330-A 地区



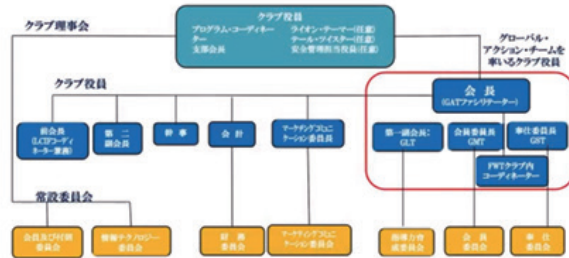
6月7日、次期三役セミナー DVD を各クラブ事務所に4枚ずつ発送させていただきました。

新型コロナウイルスの影響で集合形式で開催できなかったため、次期運営方針中心に30分ほどの動画にしました。

同じものを地区 HP にアップしますのでどうぞご覧ください。



★ 標準クラブ組織について



★ 次期三役セミナー

★ ライオンズクラブの歴史・国際会長方針(1)

- ・ 創始者メルビン・ジョーンズは1910年代、シカゴのビジネス・サークル(ロータリークラブ?)の会員になったが、毎週の軽食を食べてドネーションを出すだけの例会運営がつまらなくなった。
- ・ 3年間、仕事(保険代理店業)を休んで、全米のビジネスサークルを訪問し、よりよいカタチを模索した。
- ・ ⇒ ①わかりやすいマーク(紋章)と名称。
②単に社交や職業利益を得るだけでなく、地域や社会をよりよくするために貢献
③奉仕活動は、職域・個人で行うだけでなく、クラブ単位のチームワークで行うことで、金を出さなくても高い参加満足度の高いボランティア活動にする
④互いに自由に行き来でき、協力し合うことのできる、無限に広がるネットワーク
⑤考えるだけでわくわくするような新しい組織。



★ 次期三役セミナー

★ ガバナー方針・キャビネット運営について(2)

来期の方針その1

新型コロナウイルス(Covid19)の影響を鑑み
地区費と地区大会費を四半期分免除。
 ⇒退会防止につなげてほしい

- (キャビネットとしては各クラブでも退会防止策を検討してほしいと考えています)
- * 来期限定でのクラブ費減免
 - * 退会希望者への賛助会員・休会の奨励
 - * 休会しても必要な費用のクラブからの支弁
 - * 理事会例会のIT化 (WEB会議)による経費節減とメンバー交流の維持

★ 次期三役セミナー



YCE Report

地区内各クラブ及びメンバーの皆様には日頃よりYCE活動に深いご理解とご協力を賜わり、改めて厚く感謝申し上げます。
さて、今年度のYCE活動は新型コロナウイルスの影響により、残念ながら冬期の活動のみとなりましたが、取り敢えずその活動及び皆様からお預かり致しました協賛金の収支をご報告申し上げます。
2019～2020年度 330-A地区 YCE委員会

2019～2020年度 YCE 活動に関して

330-A地区各クラブ及びメンバーの皆様には、YCE活動に関し深いご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。
さて、今年度は冬期の派遣及び来日生受け入れを無事終え、春期及び夏期の派遣生の為のオリエンテーションを去る2月15日私も出席し開講致しましたが、その直後から新型コロナウイルスが蔓延し始め、誠に残念ながら春期及び夏期の交換留学が全て中止、又第16回青少年英語スピーチコンテストも中止せざるを得ぬ事となりました。
このYCEプログラムは、ライオンズクラブ国際協会の国際プログラムである事から今年度の交換留学は日本のみならず全世界にて中止となった次第です。この様に、今年度は誠に残念な結果となりましたが、このコロナウイルスに打ち勝ち来期以降にそのエネルギーを発揮出来ればと思ひ、引き続き各クラブ及びメンバーの皆様のご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

2019～2020年度 330-A地区ガバナー 伊賀保夫

2019～2020年度 YCE委員会 活動報告

(1) 冬期来日生 (2019年12月)

▶Mr. Kon Zheng YAN (19才) マレーシア 12月5日～26日



ホスト家庭 (スポンサークラブ)
①L. 久保田明雄 (東京赤羽LC)
②L. 中尾美佐男 (東京けやきLC)
③L. 尾崎信夫 (東京東大和LC)
④L. 高橋孝子 (東京上野東LC)

▶Mr. Wei Hng CHIA (16才) シンガポール 12月13日～26日



ホスト家庭 (スポンサークラブ)
①L. 富樫誠 (東京レスキューLC)
②L. 生沼夏也 (東京レスキューLC)
③L. 平位尚子 (東京レスキューLC)

*フェアウェルパーティ (12月22日)



(2) 冬期派遣生

▶大塚ひよりさん (東京新都心LC)
イタリヤへ (2019年12月19日～2020年1月7日)



▶菅野瑛之介君 (東京中野LC)
マレーシアへ (2019年12月21日～2020年1月8日)



(3) 春・夏期派遣生オリエンテーション開講式 (2020年2月15日)



注) 以後、新型コロナウイルス蔓延の為、春期・夏期留学生交換事業、第16回青少年スピーチコンテスト等、全ての事業が残念ながら中止となりました。

2019～2020年度 YCE協賛金特別会計収支報告

(単位:円)

収入の部		支出の部	
YCE協賛金	2,850,000	複合地区分担金	250,000
受取利息	14	冬期キャンプ費用	179,350
		派遣生関連費用	99,570
		その他雑費	1,485
		支出の部小計	530,405
		余剰金(未使用残)	2,319,609
収入の部合計	2,850,014	支出の部合計	2,850,014

注) 本収支報告は、2020年5月末現在の暫定であり、特に余剰金の処理については、第4回キャビネット会議にて審議される予定です。

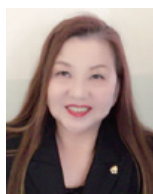
LCIF Report

LCIF この1年を振り返って



LCIF キャンペーン 100
地区コーディネーター

L 伊賀 則夫



LCIF キャンペーン 100
地区副コーディネーター

L 宮本志づ子



LCIF 委員会委員長

L 大森 光徳

先ず、LCIF 理事長グドラン・イングバドターから皆様へと題したメッセージをお伝えします。
ライオンズ会員の皆様

この困難な時にあって、私たちはグローバル・コミュニティの現実に向き合い対応しつつも、未来への希望は失わずにいなければなりません。私どももまた、長期的な視野に立って成功を収めるために最善の方法を見極めようとしています。

この決意のもと、チョイ国際会長、山田キャンペーン国際委員長、ムーアキャンペーン国際副委員長、そして私より、キャンペーン 100 「LCIF 奉仕に力を」の期間が1年間延長され、2022年6月30日までとすることが決定されたことをここにお知らせいたします。ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) の未来のために、このキャンペーンでは私たちの全力を余すところなく発揮して取り組むべきであり、その取り組みをする機会を与えるためには、時間が必要です。

この新型コロナウイルスの蔓延に直面しつつも、私たちは楽観的でかつ行動あるのみという態度で臨もうとしています。2020年5月21日現在、LCIFは3,851,655ドルを、新型コロナウイルスで大きな被害を受けているコミュニティへの緊急支援のために交付しております。皆さんの財団でLCIFとのつながりを維持し、その取り組みについて常に最新情報を得ていただければ幸いです。

多くのライオンズ会員から、この極めて困難な時に、どうやって手を差し伸べることが出来るかとの質問を受けます。可能であれば、ぜひLCIFの寄付は lionsclubs.org/donate から行っていただけます。LCIFが、ライオンズが行う地域の安全・健全を守る取り組みに支援を続けるには、お一人お一人の寄付が不可欠です。すべての寄付は、MIFとキャンペーン100での表彰対象となります。最近寄付をしてくださった皆様には、その思いやり、そして私たちライオンズの財団へのご支援に心から感謝申し上げます。心を込めて・・・ライオンズクラブ国際財団理事長 グドラン・イングバドター

勇気の鐘を=過酷な数ヶ月を耐え抜き、16歳のパレマはボツワナの病院で鐘を鳴らすことができました。この鐘はパレマが化学療法の治療を終えたことを示すものでした。ライオンズはLCIFの支援を得て、グローバルホープと協力し、診断と治療を、他の方法では届けることのできない地域にももたらしています。

LCIFの寄付はライオンズによる新型コロナウイルス感染症への対応に役立っています。

私たちの財団は、新型コロナウイルス陽性の確定条件数が急増している地域を支援するために、既に300万ドルの交付金を提供しました。LCIFはこれらの事業を一般災害援助資金でサポートしていますが、集まった資金が事業に必要な額を上回った場合は、他の災害救援活動を支援するために利用される可能性があります。LCIFへの皆様の支援が今ほど重要な時はありません。一般災害援助資金への寄付を、どうぞ今すぐにご検討下さい。寄付をして与える喜びを=キャンペーン100により、ライオンズはそれぞれの地域社会で弱い立場にある人々への奉仕を続けることができます。これは、コミュニティセンターの再建であったり、公園の建設や医療従事者への保護具の配布であったりするでしょう。キャンペーン100:LCIF奉仕に力を=私たちが暮らすこの世界には、助けを求めている人たちがいます。思いやりのあるライオンズが、私たちのグローバルな財団の支援の下、世界を変えようとしています。キャンペーン100の力について理解を深め、友人、家族、地域社会の人々の暮らしを変えようと取り組むライオンズをご支援下さい。それは、私たちが願う変化を世界にもたらすことにつながります。ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) E ニュースレターより

3年連続でLCIF委員長をさせていただきましたが、今期ガバナーに就任した息子からは、「今期はいいから」と言われていました。私も「そうだよね」との思いもあって、誰を後任のLCIF委員長になって頂くのが良いのか？真剣に考え抜いた結果、綾瀬LCの大森光則Lしかいない、との結論に達し、ご本人に直接思いを伝えました。大森光則Lを知る人はご理解いただけと思いますが、とにかく「熱い男」ですから、引き受けた以上は猪突猛進、何が何でもやる！そんなライオンマンに狂いはありませんでした。

LCIF 委員会の目的は、とにかくお金を集める。協力者を見つけ、説得し、ひたすらお願い行脚しかありません。トップである委員長の「熱さ」がなければお金は集まらないのですが、大森光則委員長は見事に応えてくれました。

私は、エクステンション委員長就任の予定でしたが、「天の声」が掛かり、LCIF キャンペーン 100 地区コーディネーターの役職に就くようにとの要請があり、エクステンションは、会員増強委員会の中に組み入れていただくことで、キャンペーン 100 地区コーディネーターをお引き受けすることになりました。LCIF の基本は、1,000 ドル献金ですが、1,000 ドルを集める大森光則委員長と、100 ドルを集める担当者が別々の行動をとることは良いことではありません。両方の力を併せることで 1+1 が 2 にも 3 にもなるからです。

大森光則委員長がお願いした副委員長は、城東 LC の小泉宗孝 L と江北 LC の穴倉克己 L です。過去に実績のある八王子高尾 LC の原田純子 L は私がお願いをしました。もう 1 つ大切なポジションは、キャンペーン 100 の副コーディネーターですが、紀尾井町 LC の宮本志づ子 L をガバナーが指名してくれたことも大助かりでした。

330- A 地区には、LCIF キャンペーン 100 全日本エリアリーダー元地区ガバナーの菅原正雄 L と、LCIF エリアリーダー（東日本担当）元地区ガバナーの大石誠 L と、全日本の重職を担っているお 2 人がいらっしゃるに加え、複合地区委員長として、東京・神奈川・山梨・埼玉県を統括し、指導しているのが阿久津隆文元ガバナーです。更に、330- A LCIF の地区副コーディネーターは、ミスター LCIF の異名を持つ銀座 LC の山田春雄 L です。この方々を冠にしている 330- A 地区 LCIF 委員会並びに、キャンペーン 100 担当の私たちは結果を出さざるを得ません。

大森光則委員長、宮本志づ子副コーディネーター、私と、今期は 3 人のトロイカ体制でスタートを切ったのです。要は、自分の担当は 1,000 ドルを集めるとか、100 ドルが私の担当だとかの垣根を作らずに、お互いが協力し合った結果が今期の数字となったのです。

ライオンズクラブは、世界最大の奉仕団体ですが、奉仕とは①労力奉仕。②金銭奉仕の 2 種類がある事さえ知らずに入会したメンバーは、私だけではないと思います。今年で創設 102 年になるライオンズクラブが、51 年前に金銭奉仕も充実させようとのことで、LCIF（ライオンズ国際財団）を作りました。日本は今から 68 年前にフィリピンのスポンサーで 35 番目の入会国となりました。（現在は 212）会員数が増え続けたことで、8 つの複合地区が出来、35 の地区があるのですが、何をするのにもランク分けされます。LCIF の献金額の集まり具合が 35 番目の最下位だった 5 年前を考えると面目躍如といったところでしょうか。今期も LCIF に献金協力してくださいましたメンバーの皆様と、330- A 地区・330 複合地区の役員の皆様の熱いお気持ちと、努力に心より感謝申し上げます。

LCIF キャンペーン 100 地区コーディネーター L 伊賀 則夫

■ 330-A 地区 4 月 30 日現在での MJF の現況

■ 330-A 地区 4 月 30 日現在での \$100 の現況

■ 累計金額：48,488,400 円

■ 口 数：441 口

■ 献金者数：243 名

《リードギフト誓約者》 2 名

東京ピース LC L 伊賀 保夫
東京新宿 LC L 山浦 晟暉

■ 累計金額：8,268,700 円

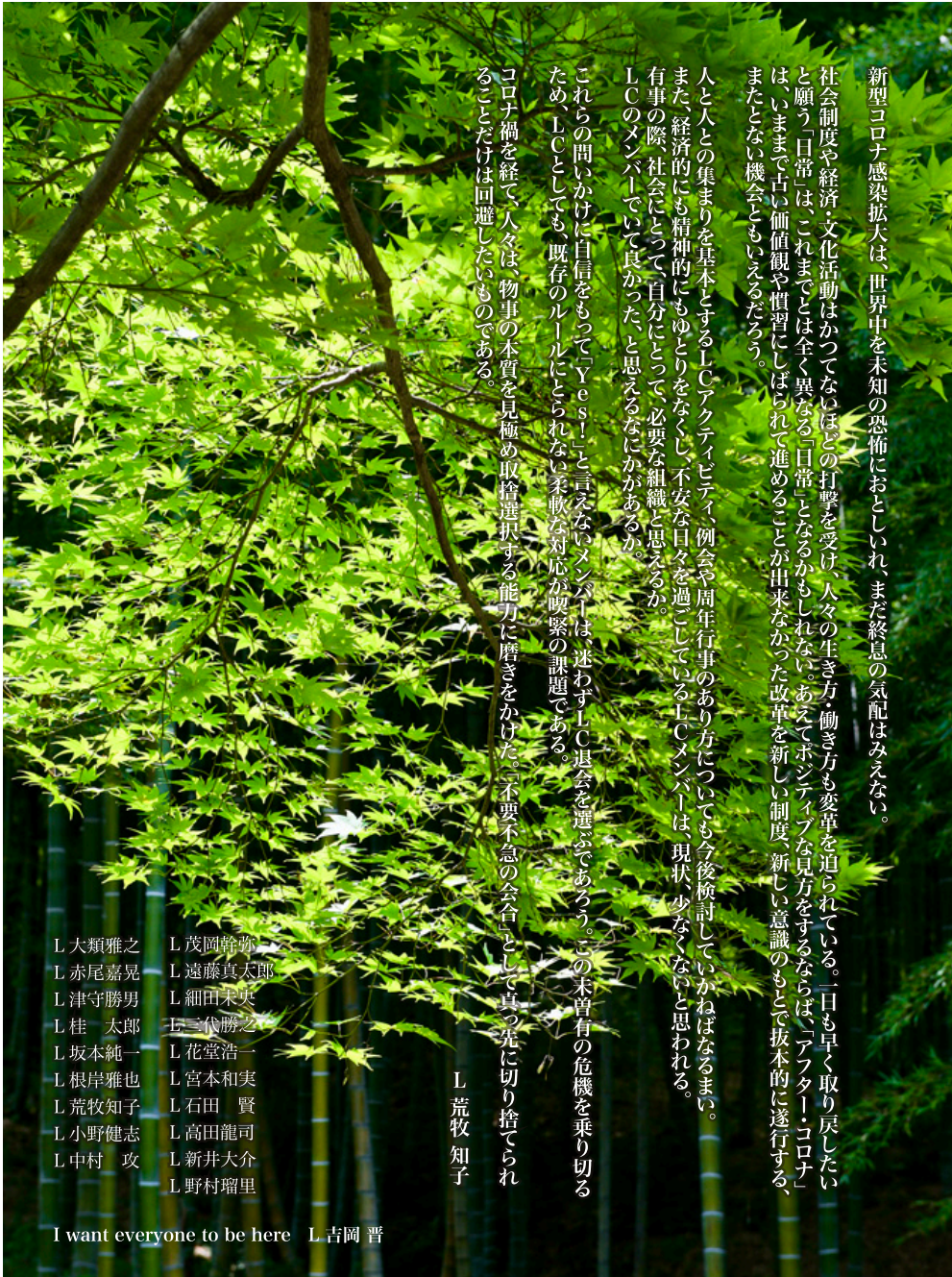
■ 献金クラブ数：35 クラブ

《メジャーギフト誓約者》 10 名

※リジョン・ゾーン順

東京銀座 LC	L 山田 春雄	東京中野 LC	L 田中 淳正
東京数寄屋橋 LC	L 大石 誠	東京横田 LC	L 加藤 邦広
東京数寄屋橋 LC	L 村木 秀之	東京八王子高尾 LC	L 原田 純子
東京赤坂 LC	L 阿久津隆文	東京八王子陵東 LC	L 石井 征二
東京巣鴨 LC	L 今井 文彦		
東京中野 LC	L 宇田川直子		





新型コロナ感染拡大は、世界中を未知の恐怖におとし入れ、また終息の気配はみえない。

社会制度や経済・文化活動はかつてないほどの打撃を受け、人々の生き方・働き方も変革を迫られている。「日も早く取り戻したい」と願う「日常」は、これまでとは全く異なる「日常」となるかもしれない。あえてポジティブな見方をするならば、「アフター・コロナ」は、いままで古い価値観や慣習にしばられて進めることが出来なかった改革を新しい制度、新しい意識のもとで抜本的に遂行する、またとない機会ともいえるだろう。

人と人との集まりを基本とするLCアクティビティ、例会や周年行事のあり方についても今後検討していかねばなるまい。また、経済的にも精神的にもゆとりをなくし、不安な日々を過ごしているLCメンバーは、現状、少なくともと思われる。有事の際、社会にとつて、自分にとつて、必要な組織と思えるか。LCのメンバーについて良かった、と思えるなにかがあるか。

これらの問いかけに自信をもって「Yes!」と言えないメンバーは、迷わずLC退会を選ぶであろう。この未曾有の危機を乗り切るため、LCとしても、既存のルールにとられない柔軟な対応が喫緊の課題である。

コロナ禍を経て、人々は、物事の本質を見極め取捨選択する能力に磨きをかけた。「不要不急の会合」として真っ先に切り捨てられることだけは回避したいものである。

L 荒牧知子

- L 大類雅之
- L 赤尾嘉晃
- L 津守勝男
- L 桂 太郎
- L 坂本純一
- L 根岸雅也
- L 荒牧知子
- L 小野健志
- L 中村 攻
- L 茂岡幹弥
- L 遠藤真太郎
- L 細田未央
- L 三代勝之
- L 花堂浩一
- L 宮本和実
- L 石田 賢
- L 高田龍司
- L 新井大介
- L 野村瑠里

I want everyone to be here L 吉岡 晋

クラブアクティビティや委員会セミナーの予告、報告は330-A 地区 HPの投稿欄からお願い致します
330-A NEWS デジタル版は過去の地区ニュース7年分が掲載されていて他クラブのアクティビティや
キャビネット活動の変化を見ることができます。HPは「330A で検索」

LIONS CLUBS INTERNATIONAL 330-A LIONS NEWS Vol.6
発行人：マーケティング・コミュニケーション・IT委員会委員長L吉岡 晋
発行：令和2年6月 20200630
Copyright 2019-20 330-A Lions Clubs International All Rights Reserved.



表紙撮影 あらいだいすけ